



# あおぞら

<http://www.katsurao.org/site/es/>

<重点目標>

Let's challenge!

自信をつけてレベルアップ!!!

## 大寒の中、縄跳び記録会～悔しさをバネにしてほしい～

校舎の屋根のひさしから1m近くある氷柱が垂れ下がりました。また、雪の上にはウサギの足跡があちらこちらに見られます。例年にない大寒波が襲来し真冬が続きましたが、ようやく寒さも一段落し、いよいよ2月に入ります。子供たちは寒さに負けず元気に登校していますが、インフルエンザが警報レベルに達しましたので、今後とも十分ご注意願います。「早寝・早起き・朝ご飯」の基本的な生活習慣を続け、風邪やインフルエンザに負けない免疫力や体力を身に付けてほしいと思います。

さて、26日(金)に本校体育館において、富岡小学校との「合同なわとび記録会」を実施しました。寒さにも負けず子供たちは、個人種目である「持久跳び」と「技跳び」に挑戦し、その後紅白対抗と学校対抗で1分間、「大縄での八の字跳び」を行いました。

子供たちのほとんどが「持久跳び」で目標タイムをクリアし、「技跳び」で目標の回数を上回り合格しました。しかし、中にはあとほんの数秒、あと1回跳べば合格できた子供もおり、大変悔しがっていました。とても貴重な体験だったと思います。「悔しがる気持ち」や「次はもっと頑張るぞという気持ち」がさらなる成長につながります。

何事も一回でうまくいくことはありません。練習ではうまくいっても本番で失敗することもたくさんあります。子供たちには悔しさをバネに、あきらめないで挑戦する気持ちを大切にしてほしいと思っています。

応援に駆けつけてくださいました保護者の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。



### 「新春の句」のカルタにチャレンジ!・・・26日(金)

「青空にきず一つなし玉の春」「書初や窓も丁字に梅のかげ」「元日や手を洗ひをる夕ごろ」など、新春を詠んだ20句を子供たちは事前にしっかり暗記していました。

26日(金)の全校集会において、今年度最後の「カルタ大会」を行い、子供たちは対戦相手と真剣勝負に挑みました。読み手が初句を読むとすぐに「はい!」と元気に札を取り、下級生が上級生に勝つ場面もたくさんありました。(ちなみに私は全敗でした。)

今年度、1年を通して「カルタ大会」を5回実施しました。カルタは全部で100句ありますが、70句以上暗記した児童もいました。楽しく日本の伝統文化に触れると同時に、子供たちの覚える力や反応の早さ、前向きにチャレンジする姿などいろいろな面でレベルアップにつながりました。



### もうすぐ節分、そして立春

例年になく寒さが厳しいせいも、今年は春の訪れが待ち遠しく感じられます。

さて、文字どおり「節分」とは季節を分けるということで1年間に4回ありました。しかし、特に冬から春への季節の変わり目には、悪いことや病気が起こると信じられており、2月の「節分」だけが残りしました。

ヒイラギの小枝にイワシの頭をさしたものを戸口に置き、豆をまくようになったのは室町時代の中期ごろからといわれています。

鬼はイワシのにおいが大嫌いで、ヒイラギはとげとげしており鬼の侵入を防ぐという意味があるそうです。

「福は内、鬼は外」

